



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣地 厚

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	92,630	14.0	3,769	38.1	4,117	35.5	2,126	52.8
2020年3月期第3四半期	107,682	1.1	6,090	0.3	6,385	2.0	4,506	1.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,243百万円 (6.9%) 2020年3月期第3四半期 4,905百万円 (147.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	119.72	119.29
2020年3月期第3四半期	250.92	249.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	163,762	112,475	67.7	6,238.49
2020年3月期	166,633	109,139	64.6	6,061.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 110,897百万円 2020年3月期 107,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				115.00	115.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	6.6	4,500	33.3	4,500	34.5	2,100	52.1	118.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	19,293,516 株	2020年3月期	19,293,516 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,517,167 株	2020年3月期	1,546,409 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	17,764,927 株	2020年3月期3Q	17,960,787 株

自己株式数には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛、休業要請等の影響を受けて個人消費や企業活動が著しく制限され、新型コロナウイルス感染症の再拡大など収束の見通しが立っておらず、経済へのマイナス影響は長期化することが懸念されております。

当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」において、『集中と結集』をコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めておりますが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が、当社グループに大きな影響を及ぼしていることから、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」の最終年度を2022年3月期まで1年間延長し、2020年度はその影響を最小限とする取り組みを最優先と致します。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、機能ソリューション事業は、海外販売を中心に影響を受けました。アパレル事業は、成長販路であるECチャネルでの大幅な販売拡大を進めましたが、店舗販売の低迷をカバーできませんでした。またライフクリエイト事業は、ショッピングセンターやスポーツクラブの臨時休業の影響を受けました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は92,630百万円(前年同期比14.0%減)、営業利益は3,769百万円(前年同期比38.1%減)、経常利益は4,117百万円(前年同期比35.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,126百万円(前年同期比52.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、収縮ラベル用フィルムは外出・イベント自粛により飲料向けが低迷しましたが、包装用フィルムが内食需要で好調に推移しました。エンジニアリングプラスチック分野は、半導体市場向け製品は堅調に推移しましたが、オフィス関連向けOA製品が大きく低迷しました。電子部品分野は、既存商品の廃番と新商品の延期によりタッチパネルの販売が減少しました。メディカル分野は、外科手術の減少や医療機関の立ち入り制限の影響はあるものの回復基調となりました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は36,454百万円(前年同期比14.1%減)、営業利益は3,365百万円(前年同期比26.8%減)となりました。

<アパレル事業>

アパレル事業全体では、回復基調となっているものの休業や外出自粛等による店頭販売の不振が影響しました。インナーウェア分野は、EC、ドラッグストアのチャネルが好調に推移し、ベーシック商品や、レディース商品が伸長しました。また、レグウェア分野は、一部レギンス等は好調に推移しましたが、外出自粛によりストックキングの着用機会が減少し影響を受けました。

以上の結果、アパレル事業の売上高は47,909百万円(前年同期比12.2%減)、営業利益は2,339百万円(前年同期比23.0%減)となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業において、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、集客が伸び悩み苦戦しましたが、新規物件が賃貸事業に寄与しました。スポーツクラブ分野は、休業要請の解除後も、会員の戻りは遅く影響を受けました。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は8,741百万円(前年同期比20.8%減)、営業利益は304百万円(前年同期比63.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、163,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,871百万円減少しました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加2,430百万円、プラスチックフィルム分野でのベトナム新工場稼働等による機械装置及び運搬具の増加1,272百万円及び建物及び構築物の増加1,032百万円であり、主な減少要因は、新工場稼働等による有形固定資産その他の減少3,982百万円(建設仮勘定等)、政策保有株式の売却等による投資有価証券の減少2,584百万円であります。

負債は、51,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,207百万円減少しました。主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少2,636百万円、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の減少1,053百万円、賞与引当金の減少1,024百万円であります。

純資産は、112,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,336百万円増加しました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加3,044百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加2,126百万円であり、主な減少要因は、配当による減少2,042百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね想定の範囲内で推移していることから、2020年8月4日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,267	9,992
受取手形及び売掛金	28,099	30,530
商品及び製品	21,857	21,480
仕掛品	6,672	6,295
原材料及び貯蔵品	4,487	4,370
その他	3,997	3,237
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	74,377	75,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,699	40,732
機械装置及び運搬具(純額)	9,455	10,727
土地	12,287	12,271
その他(純額)	6,478	2,496
有形固定資産合計	67,921	66,227
無形固定資産	1,774	1,562
投資その他の資産		
投資有価証券	15,591	13,006
その他	7,038	7,127
貸倒引当金	△69	△63
投資その他の資産合計	22,560	20,071
固定資産合計	92,256	87,861
資産合計	166,633	163,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,271	7,635
短期借入金	5,513	5,435
コマーシャル・ペーパー	6,600	6,200
1年内返済予定の長期借入金	560	6,119
未払法人税等	635	300
賞与引当金	1,437	413
その他	9,249	8,837
流動負債合計	34,267	34,942
固定負債		
長期借入金	11,973	5,837
退職給付に係る負債	5,446	5,000
長期預り敷金保証金	4,965	4,898
その他	840	607
固定負債合計	23,227	16,344
負債合計	57,494	51,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,701	6,697
利益剰余金	84,351	84,435
自己株式	△6,727	△6,567
株主資本合計	110,397	110,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,617	426
繰延ヘッジ損益	57	△12
土地再評価差額金	△45	△45
為替換算調整勘定	507	273
退職給付に係る調整累計額	△731	△381
その他の包括利益累計額合計	△2,830	260
新株予約権	187	187
非支配株主持分	1,385	1,390
純資産合計	109,139	112,475
負債純資産合計	166,633	163,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	107,682	92,630
売上原価	74,747	64,053
売上総利益	32,934	28,577
販売費及び一般管理費	26,844	24,807
営業利益	6,090	3,769
営業外収益		
受取利息	31	28
受取配当金	506	421
固定資産賃貸料	267	229
為替差益	22	—
その他	98	343
営業外収益合計	927	1,022
営業外費用		
支払利息	165	101
固定資産賃貸費用	241	225
為替差損	—	76
その他	224	271
営業外費用合計	631	674
経常利益	6,385	4,117
特別利益		
固定資産売却益	296	2
投資有価証券売却益	58	1,444
受取和解金	128	—
固定資産受贈益	—	34
その他	21	—
特別利益合計	505	1,481
特別損失		
固定資産除売却損	142	63
投資有価証券売却損	50	1,428
投資有価証券評価損	0	36
建設計画変更損失	75	—
債務保証損失引当金繰入額	63	39
新型コロナウイルス感染症による損失	—	961
その他	33	58
特別損失合計	365	2,588
税金等調整前四半期純利益	6,525	3,011
法人税等	1,944	824
四半期純利益	4,580	2,186
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,506	2,126

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	4,580	2,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	513	3,044
繰延ヘッジ損益	△9	△69
為替換算調整勘定	△582	△269
退職給付に係る調整額	403	350
その他の包括利益合計	325	3,056
四半期包括利益	4,905	5,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,851	5,217
非支配株主に係る四半期包括利益	54	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは、連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを実施しております。

会計上の見積りに用いた新型コロナウイルス感染症の収束時期については、2021年1月の「緊急事態宣言」再発令等により事業環境の不確実性が高まっていることから、当初の想定より長期化し、2021年度以降も一定期間は継続することを見込んでおります。

しかしながら、会計上の見積りに用いた新型コロナウイルス感染症の影響については、徹底した感染防止対策の実施やコロナ禍を前提とした事業活動の推進等により、当社グループの業績が概ね想定範囲内で推移していることから、当初の想定内に収まることを見込んでおります。

新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、前連結会計年度末時点から収束時期を見直しておりますが、当該変更が会計上の見積りに与える影響は軽微であり、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,336	54,407	10,938	107,682	—	107,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108	145	100	354	△354	—
計	42,444	54,552	11,038	108,036	△354	107,682
セグメント利益	4,597	3,036	841	8,475	△2,385	6,090

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,385百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,222	47,755	8,652	92,630	—	92,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	232	153	88	475	△475	—
計	36,454	47,909	8,741	93,105	△475	92,630
セグメント利益	3,365	2,339	304	6,009	△2,240	3,769

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,240百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。